

第 28 回東京 PD 研究会

テーマ

『人生 100 年時代を見据えた腹膜透析医療』

日時:平成 30 年 5 月 19 日(土)
13:30～17:30

場所:東邦大学医療センター大森病院
5 号館 地下一階 臨床講堂

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1

＜ご挨拶＞

春の桜はすでに散り、新緑のすがすがしい季節を迎えました。皆さまにおかれましては、日頃より東京PD研究会に格別のご理解とご協力を賜り、誠に厚くお礼申し上げます。

この度、幹事を仰せつかりまして、はなはだ力不足ではございますが、ご参加いただける方々の明日の診療に少しでも役立つ会としてプログラムを作成し、開催を迎えることができました。

昨今は人生100年時代と言われます。この100年をどう生きるか、我々腎臓領域の医療者としては、高齢者腎不全医療はどうあるべきか、悩む時代に入りました。おりしも平成30年度診療報酬改定では、腹膜透析診療の推進に焦点が当てられ、血液透析一辺倒の時代の終焉を迎えていく感があります。然るべき時に、然るべき療法選択を提示しなければなりません。その為今回のテーマを「人生100年を見据えた腹膜透析医療」と題しました。

特別講演1としては、企業の事業推進部長として、かつ腹膜透析療法を受けている患者として、腹膜透析の在り方、企業から見た医療の方向性を株式会社エーアンドエーマテリアルの荒瀬彦之様にご講演いただき、特別講演2としては、今回の平成30年改訂における腎不全在宅医療の内容を、厚生労働省保険局医療課長 迫井正深先生にご講演いただく予定です。

午前の部はAssisted PDの講習会を従来通り開催し、さらに今年が目玉として、小懇親会を研究会終了後に開催したく存じます。

蒲田(梅屋敷)は、羽田空港、品川駅の間中にあり、意外と交通の便もよくてございます。医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床工学士他多職種のご参加を心よりお待ちしております。

2018年5月
第28回東京PD研究会 当番幹事
東邦大学医療センター大森病院
酒井 謙

プログラム

- 13時30分-13時35分 **開会の挨拶**
当番幹事挨拶: 酒井 謙 東邦大学医療センター大森病院
- 13時35分-14時55分 **一般演題 I (発表7分、質疑3分)**
座長: 酒井 行直 日本医科大学
今井 早良 日本赤十字社医療センター
1. 片麻痺のある患者への PD 導入指導を経験して
谷川 直美 玉川病院
 2. 腹膜透析患者の退院後訪問の重要性
矢野 京子 日本赤十字社医療センター
 3. 腹膜透析導入期に必要とされる退院支援の検討
平野 大輔 東邦大学医療センター大森病院
 4. 高齢の腹膜透析患者への家族介入の支援
宮川 万裕子 東京女子医科大学東医療センター
 5. 脳出血発症後、PD last として PD を再開し自宅退院可能となった 1 例
松本 千佳 三井記念病院
 6. 病院(診療所)・在宅で作る「看・看連携」が PD 患者の在宅看取りのカギを握る！
吉村 亜矢 王子北口内科クリニック
 7. 腹膜炎でカテーテル抜去に至った長期腹膜透析患者 3 例の検討
高上 紀之 日本赤十字社医療センター
 8. 腹膜透析(PD)患者における運動耐容能と QOL の相関
内山 清貴 慶應義塾大学医学部

～休憩5分～

15時00分—16時20分 一般演題Ⅱ（発表7分、質疑3分）

座長： 阿部 雅紀 日本大学医学部附属板橋病院
三瀬 直文 三井記念病院

9. 長期 PD 併用療法による MIA 関連因子・腹膜機能への影響：過去起点コホート研究

上條 由佳 日本赤十字社医療センター

10. 腹膜透析患者において大腿骨骨密度はサルコペニアに相関する：横断研究

上條 由佳 日本赤十字社医療センター

11. PD 患者における臨床フレイルスケール(CFS)を用いた認知・身体機能との相関及び予後
規定因子としての有用性：前向きコホート研究

上條 由佳 日本赤十字社医療センター

12. 当施設における糖尿病腹膜透析(PD)患者と非糖尿病 PD 患者の腹膜炎発症率の比較

上田 莉紗 東京慈恵会医科大学

13. 腹腔鏡下腹膜透析カテーテル抜去術の有用性の検討__術中内視鏡所見の観察からの
知見__

中野 貴則 順天堂大学医学部附属練馬病院

14. 結果的に自宅で PD を導入した1症例

中村 良一 駒沢腎クリニック

15. 長期腹膜透析に伴う被嚢性腹膜硬化症で反復性サブイレウスを呈した1例

當間 勇人 東京医科歯科大学医学部附属病院

16. 超高齢末期腎不全患者に外来腹膜透析導入を行った一例

小野 慶介 日本赤十字社医療センター

～休憩5分～

16時25分—16時45分 特別講演①

テーマ「企業から医療へ期待するもの」

株式会社エーアンドエーマテリアル事業推進部部長 荒瀬 彦之様

16時45分—17時30分 特別講演②

テーマ「平成30年改定における腎不全在宅医療」

厚生労働省保険局医療課長 迫井 正深先生

座長：酒井 謙 東邦大学医療センター大森病院

17時30分—17時35分

優秀演題賞発表 代表幹事 横山 啓太郎 東京慈恵会医科大学

閉会の挨拶 次回当番幹事 阿部 雅紀 日本大学医学部附属板橋病院

17時40分— 情報交換会

レストラン(BUONO)

東邦大学医療センター大森病院 5号館 一階

(同建物一階レストラン)

ご案内

受付開始時間: 12:30～
受付場所: 東邦大学医療センター大森病院 5号館 地下一階 臨床講堂
会費: 医師・企業関係者 3,000 円、レジデント・コメディカル 1,000 円

演者の方へ

- ※一般演題は発表7分、質疑3分でお願いします（時間厳守でお願いします）。
- ※スライドは Microsoft PowerPoint (Windows のみ) で作成をお願いします。
- ※USB で当日ご持参ください。発表用の PC は研究会でご用意します。
- ※スライド受付場所は東邦大学医療センター大森5号館地下1階臨床講堂前ホワイエです
(ご発表の1時間前までにスライドの受付をお願いします)

東京 PD 研究会

最高顧問 佐中 孜, 多川 齊 (五十音順)

顧問 秋澤 忠男, 乳原 善文, 岡田 一義, 窪田 実, 栗山 哲, 栗山 廉二郎, 篠田 俊雄,
杉本 徳一郎, 中尾 俊之, 原 茂子, 本田 雅敬 (五十音順)

代表幹事 横山 啓太郎

幹事 阿部 雅紀, 池田 雅人, 石橋 由孝, 今井 早良, 岡戸 丈和, 菅野 義彦, 古賀 祥嗣,
酒井 謙, 酒井 行直, 田村 博之, 丹野 有道, 幡谷 浩史, 濱田 千江子,
樋口 千恵子, 星井 英里, 星野 純一, 本田 浩一, 三瀬 直文, 矢野 由紀, 鷺田 直輝
(五十音順)

賛助会員 株式会社ジェイ・エム・エス, 協和発酵キリン株式会社, 中外製薬株式会社,
テルモ株式会社, 鳥居薬品株式会社, バクスター株式会社 (五十音順)

事務局 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科

交通アクセス



JR 蒲田駅 東口から

- ・バス(約7分) 2番のりば「大森駅行」「東邦大学」下車
- ・タクシー(約5分)

JR 大森駅 東口から

- ・バス(約20分) 1番のりば「蒲田駅行」「東邦大学」下車
- ・タクシー(約10分)

京浜急行 梅屋敷駅から

- ・徒歩(約7分)